

国家戦略特区：「次世代イノベーション都市実証特区」

～人口減少社会における“地域”の発展モデル～

【背景】

- 山形県鶴岡市は、「知識の源泉」「核となるイノベーション企業」「豊かな自然・文化」がそろい、次世代イノベーション都市形成の最適地！
- 自然や文化等が豊かな「地方」だからこそ、ヒラメキが生まれる。

『企業』を集める

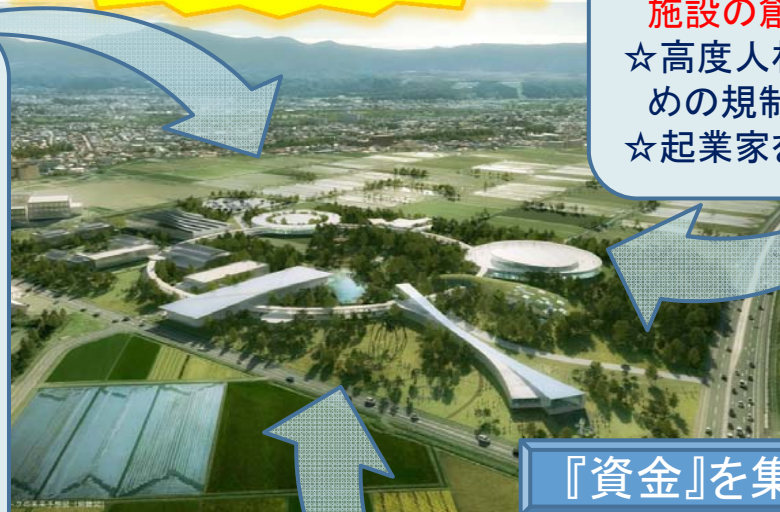
合成クモ系繊維等を核とした生産・研究開発拠点の形成と新産業化・関連産業の集積促進

- ☆農地、市街地が混在した地域におけるより効率的な行政体制の実現に向けた試み(農地法、農振法、都市計画法等の規制改革)
- ☆企業の農業分野への参入障壁に係る規制改革(農地法)
- ☆企業の競争力強化のための租税特別措置

【効果】

- 世界に誇れる「次世代イノベーション都市」の形成により
- ⇒新産業化(市場規模20兆円超)
- ⇒移住・交流人口の増(3万人超)
- ⇒関連サービス産業等への波及(経済の活性化・雇用の増加)

次世代イノベーション都市



『人材』を集める

次世代イノベーション都市環境の整備による高度人材等の誘引

- ☆保育・幼児教育・放課後児童クラブ一貫・一体型国際的教育的施設の創設(子ども・子育て支援法)
- ☆高度人材を国内外から誘引するための規制改革、優遇措置の創設
- ☆起業家を誘引するための環境整備

【実施場所】

- [A]コアゾーン：鶴岡市に限定
- [B]バッファゾーン：山形県に限定
- [C]パーチャルとしてプロジェクトに限定

『資金』を集める

中長期的に必要な資金の誘引

- ☆金融資産を多く持つ高齢者の中長期投資に係る優遇税制の創設
- ☆金融資産の中長期投資への誘導策としての優遇税制の創設
- ☆研究開発ベンチャー企業の中長期的な資金調達を実現する仕組みの創設